

こいた 小板まきばの里通信 Vol 10.1

～夏のセミの声を聞いてみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

■キャンプ場周辺で夏の植物を探索しよう！



カワラ
ナデシコ
(牧場ゲート手前)



ヨツバ
ヒヨドリ



ノカンゾウ



ナリウツギ



オカトラノオ



クサレダマ



ヤマボウシ



チダケサシ



ドクダミ



ノハナ
ショウブ



ナワシロ
イチゴ



ハンカイソウ



オトギリソウ
トモエソウ



セイヨウ
ミヤコグサ

■里山の自然観察 ～夏のセミの声を聞いてみよう～

7月、気温が連日30℃を超えるようになると、急に夏のセミたちが鳴きだします。キャンプ場周辺で耳をすませて聞いてみるといろいろなセミが鳴いている事がわかります。茶色い羽で「ジリジリ」と鳴くのはアブラゼミ、透明の羽で主に午前中に「ミンミンミンミン」と鳴くのはミンミンゼミ、夕方涼しくなってきた頃に「カナカナカナ」と鳴きだすのはヒグラシです。他にはこれらのセミより一回り小さいセミもいます。木の皮のような模様の羽で「チー」と小さく鳴くのはニイニイゼミ、透明な羽で「オーシーツクツク」または「ツクツクポーシ」と鳴くのは鳴き声そのまま名前になったツクツクボウシです。夏ならではのセミの声をじっくり聞いてなんのセミか当ててみましょう。